

授業科目 社会保障論 I

| 【担当教員名】 青柳 親房 | | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 社会 |
|--|---------------|----------------|--|-----------|----------------------|
| | | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 必修 |
| | | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| ◎ | ○ | ◎ | ○ | | |
| 【概要・一般目標：GI0】 日本の社会保障制度を取り巻く環境の変化と課題を理解した上で、社会保障を体系づけている各制度（医療保険）の仕組みと方法を学ぶ。 特に、社会保障の給付と負担の関係については、データを読み取って説明できる基礎的力量を形成する。 (介護福祉コース選択者は、介護保険制度、障害者自立支援制度等介護実践に関する諸制度についても学びも深めてもらいたい) | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SB0】 1. 社会保障制度を取り巻く環境を理解することができる。 2. 社会保障制度の概要を理解することができる。 3. 社会保障給付費及び国民医療費とその財源を正しく捉えることができる。 4. 社会保障制度の仕組みと方法を理解することができる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | | SB0 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
| 1 | 授業の概要説明 | | | | 講義 |
| 2 | 人口の動向 | | | 1 | 講義 |
| 3 | 社会保障の概念と範囲 | | | 2 | 講義 |
| 4 | 社会保障の対象等 | | | 2 | 講義 |
| 5 | 社会保障制度の発展 | | | 2 | 講義 |
| 6 | 社会保障の財源と費用（1） | | | 3 | 講義 |
| 7 | 社会保障の財源と費用（2） | | | 3 | 講義 |
| 8 | 社会保障の財源と費用（3） | | | 3 | 講義 |
| 9 | 社会保険と社会扶助（1） | | | 4 | 講義 |
| 10 | 社会保険と社会扶助（2） | | | 4 | 講義 |
| 11 | 社会保険と社会扶助（3） | | | 4 | 講義 |
| 12 | 公的保険と民間保険（1） | | | 4 | 講義 |
| 13 | 公的保険と民間保険（2） | | | 4 | 講義 |
| 14 | 公的保険と民間保険（3） | | | 4 | 講義 |
| 15 | まとめ・補論 | | | 1-4 | 講義 |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | 社会福祉学双書『社会保障論』 | 社会福祉士学双書編集委員会 | 全国社会福祉協議会 | 2015・2,400円+税 |
| 参考書 | | 適宜、授業中に紹介する。 | | | |
| その他の資料 | | 適宜、授業中に紹介する。 | | | |
| 【評価方法】 1. 出席 2. レポート又は小テスト 3. 定期試験を総合して評価する。 | | | 【履修上の留意点】 社会福祉士国家試験指定科目（共通科目）であるので、国家試験対策という観点からも目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。 | | |